

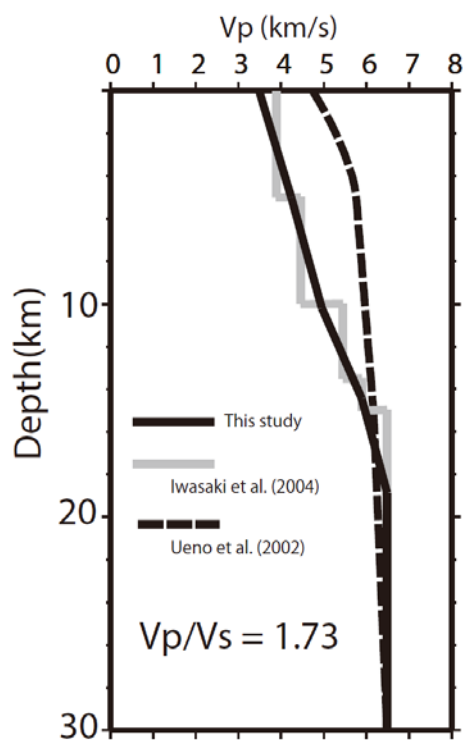
北海道大学資料

### 平成 30 年北海道胆振東部地震

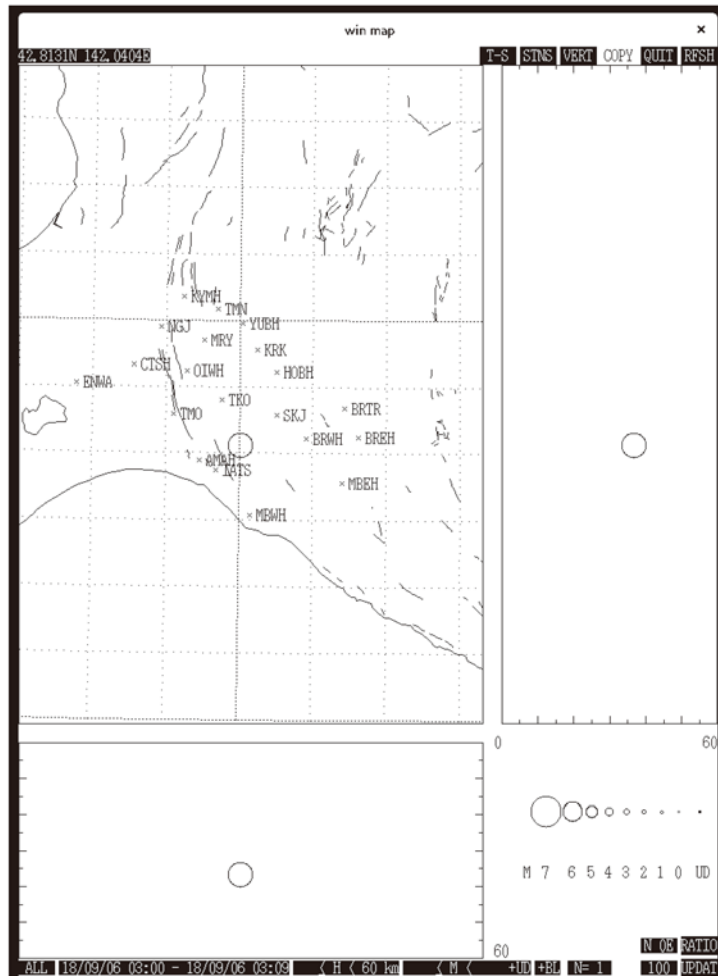
平成 30 年 9 月 6 日 03 時 08 分頃に発生した「平成 30 年北海道胆振東部地震」(M6.7) に関して、北海道大学等が実施中の調査研究観測の状況を報告する。

#### 1. 本震の震源再決定

気象庁・防災科研 Hi-net・北大定常点に加え、北大が本震前から運用していた臨時観測点のデータを用いて、Iwasaki et al. (2004)の構造探査から得られた速度構造と Hirata and Matsuura (1987)による震源決定を行った結果、深さは 36.7km となり、震央位置を含め気象庁一元化震源とほぼ同じ震源位置となった。



震源計算に利用した速度構造. Iwasaki et al.(2004)を参考にした速度構造 (灰色) を、hypomh(Hirata and Matsuura, 1987)での震源計算のため黒線のように補間して利用した。 $V_p/V_s$  は 1.73 である。黒点線は気象庁一元化震源計算の速度構造 (Ueno et al., 2002)。



震源計算に使用した観測点と震源位置 決定した深さ 36.7km

本震再決定震源. 気象庁とほぼ同じ深さとなった.

北大震源 : 42.6867, 142.0027, 36.7km, M6.7

気象庁震源 : 42.691, 142.007, 37km, M6.7

## 2. 平成30年北海道胆振東部地震合同地震観測グループによる機動地震観測点の設置

9月7日より, 全国の大学が共同で余震観測網の設置を実施している. 現在まで24点を設置した. 参加大学: 北海道大学, 東京大学地震研究所, 東北大学, 九州大学, 鹿児島大学, 弘前大学, 名古屋大学, 京都大学防災研究所.



平成30年北海道胆振東部地震合同地震観測グループの観測点分布

#### 4. 強震動観測

9月8日より、北海道大学工学研究院がオフライン強震観測点6点を設置した。